



はじめに

本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品を安全に正しくお使いいただくためにも、ご使用前に必ず本書をお読みいただき、内容をよく理解されたうえでご使用頂けますようお願い申し上げます。

1. 設置する前に

本製品を取付作業を行う前に下記の操作を行っていただけますようお願いいたします。
本製品は映像信号の出力規格を2種類備えており、ご使用の受信機側（録画装置、TV）によっては映像規格信号を切り替える必要があります。
下記の項目をご確認いただき、カメラの電源を入れてケーブルと接続し映像を確認してください。

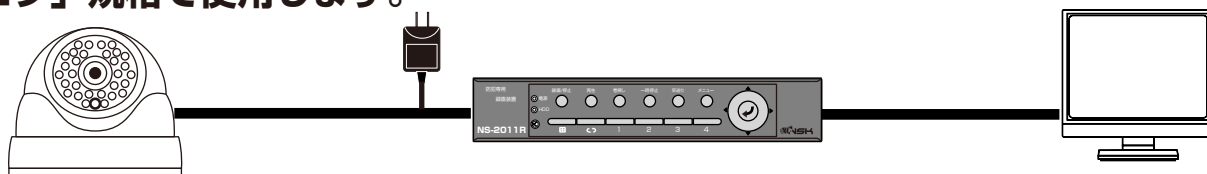
A. お手持ちのTVモニター（または家庭用録画機器）に接続する場合 ＝「アナログ」規格で使⽤します。



TV等に接続する際は、一度「外部入力端子（各機器の説明書をご確認ください）」へ本説明書の配線例（P9）を参照いただき、映像を接続してください。正常に映像が映る場合は「アナログ」規格に設定されていますので、そのままご使用ください。

※もし配線接続後映像が出なくなった場合には、次ページの切替操作をお試しください。
信号が「デジタル」規格に切替わっていれば、映像が表示されます。

B. お手持ちの弊社製録画装置（NS-2011R等）と接続する場合 ＝「アナログ」規格で使⽤します。



弊社の販売する「DIYシリーズ」の録画装置「NS-2011R」（他、NS-2009R等の録画装置）に接続する際は、上記のように一度ご使用予定の録画装置に本書（P9）を参照して接続してください。正常に映像が映る場合は「アナログ」規格に設定されていますので、そのままご使用ください。

※もし配線接続後映像が出なくなった場合には、次ページの切替操作をお試しください。
信号が「デジタル」規格に切替わっていれば、映像が表示されます。

C. 弊社製録画装置（NS-F401MR）と接続する場合 ＝「デジタル」規格で使⽤します。



弊社の販売する「DIYシリーズ」の録画装置「NS-F401MR」に接続する際は、上記のように一度ご使用予定の録画装置に本書（P9）を参照して接続してください。

正常に映像が映る場合は「デジタル」規格に設定されていますので、そのままご使用ください。
※もし配線接続後映像が出ない場合には、次ページの切替操作をお試しください。

信号が「デジタル」規格に切替わっていれば、映像が表示されます。

映像が表示されない場合の操作

配線作業や設置環境で、下記の切替操作が機能してしまった場合は映像が表示されなくなります。その際は、前ページの A ～ C のどの使用環境であるかをご確認いただき、最適な信号方式に切り替える必要があります。

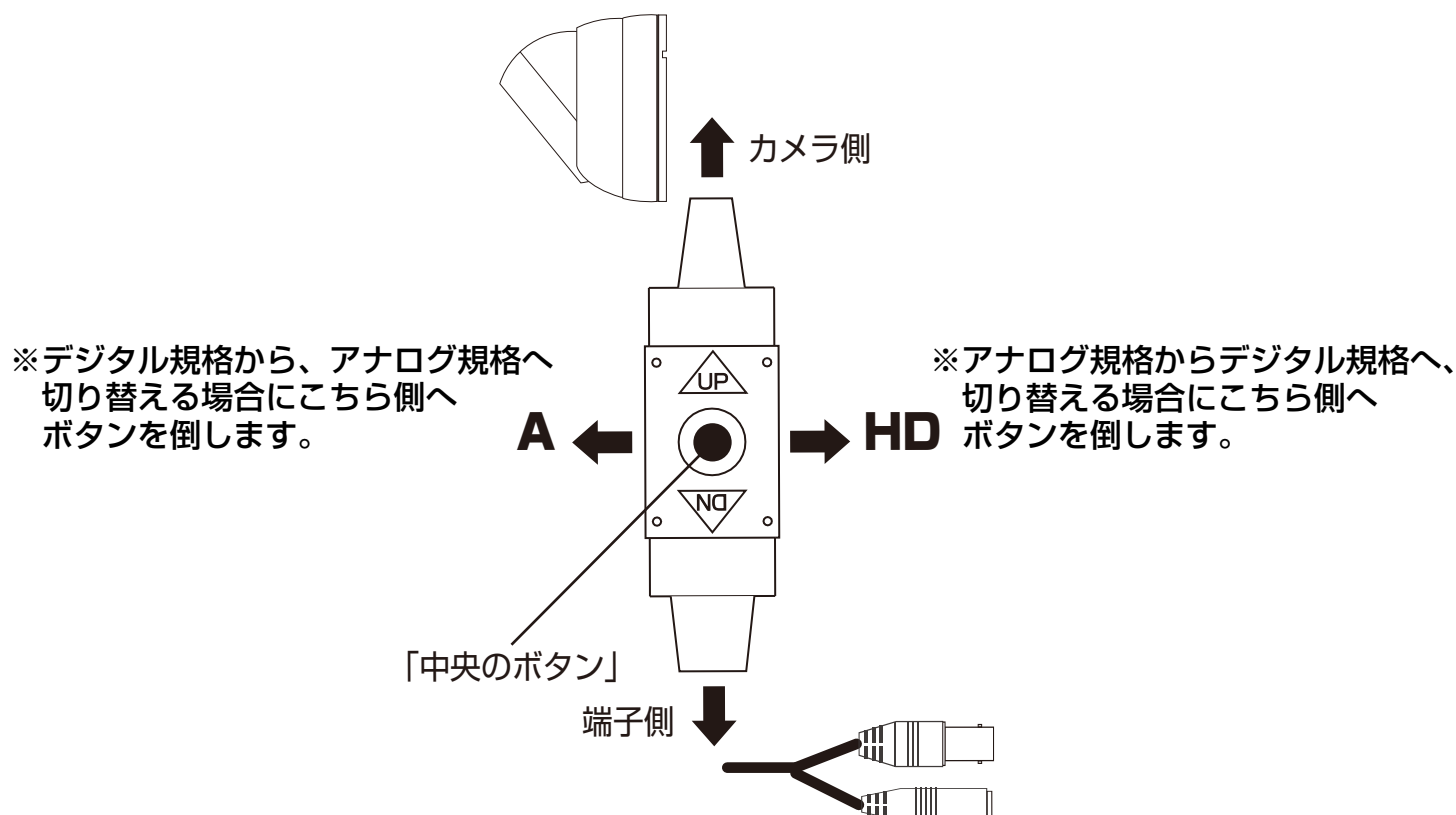
○切替操作

本体から伸びているケーブルのコントローラ一部から、特定の操作を行うことで切替を行います。ボタンの向きをご確認ください。

HD⇒アナログ：「L ボタン」（ボタンを左へ倒す）を 5 ～ 6 秒間

アナログ⇒HD：「R ボタン」（ボタンを右へ倒す）を 5 ～ 6 秒間

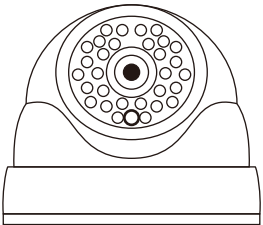
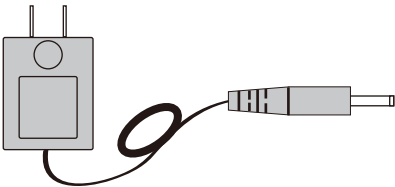
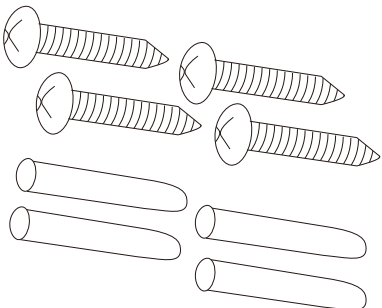
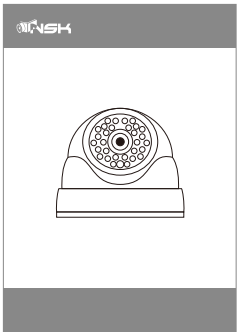
映像を表示する機器と接続中に行うことで、映像が切り替わることが確認できます。



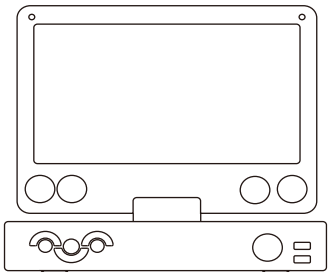
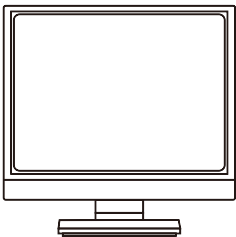
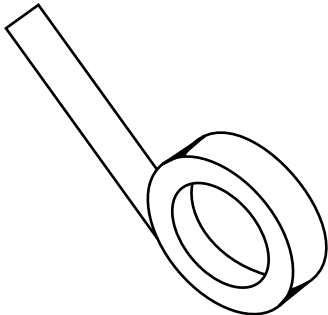
注意) 上記の切替操作は、「メインメニュー (P10 参照)」設定画面が表示されている状態では実行できません。「中央のボタン」を 1 回押すことで設定画面は表示されてしまいます。
もし画面が切り替わらない場合は、一度カメラを再起動（電源の入切は電源アダプターを抜き差ししてください）してから再度切替操作を行ってください。
再起動時には、設定画面は強制的に終了します。

映像が表示されなくてお困りの時は合わせて P18 ～ P21 をご覧ください。

箱の中身をご確認ください

カメラ	1.8m(12V/1A)AC アダプター	20m 延長ケーブル (付属)
		
カメラ用ビス・アンカー (各 4 本)	取扱説明書兼保証書 (本紙)	
		

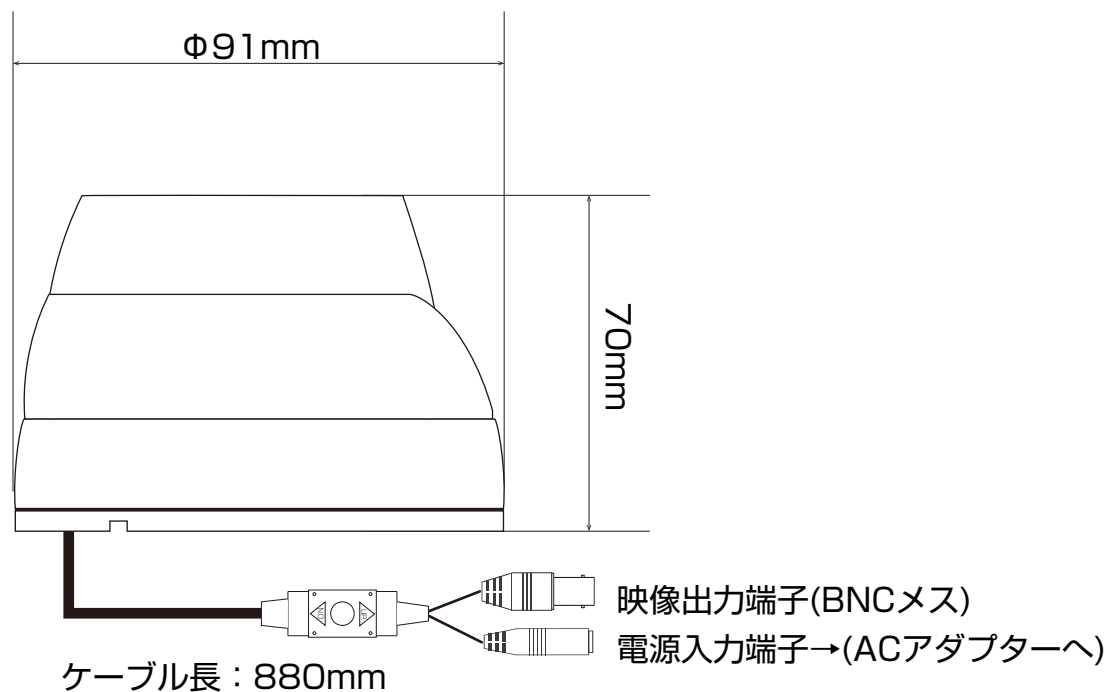
別途ご用意ください

録画装置	TV モニター	防水テープ
 録画をご希望の方は ご用意ください。 推奨：NS-F401MR	 映像の向きを確認する際に 必要です。 またカメラを直接接続する ことも可能ですが、対応 したモニターであるか 必ずご確認ください。 ※アナログ設定時	 屋外設置の方は必ず ご用意ください。

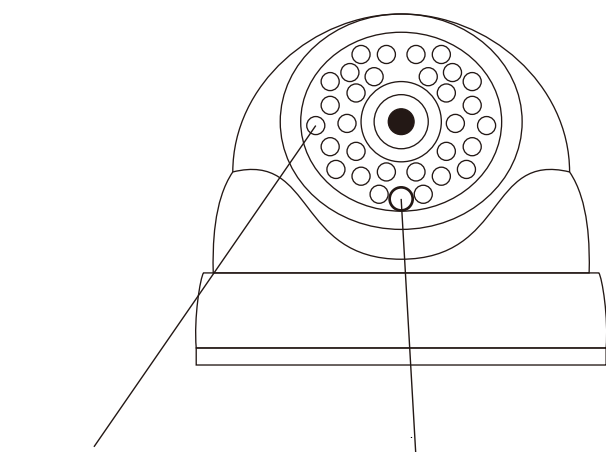
寸法および名称

※図はブラケットを伸ばした状態です。

○側面



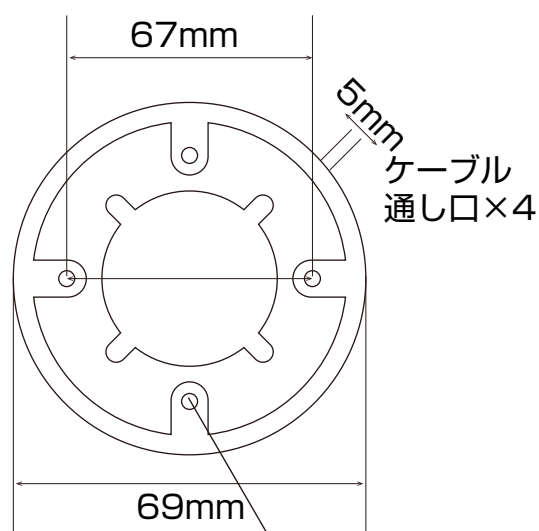
○前面



IR(赤外線) LED
赤外線を照射します。
(非発行タイプ)

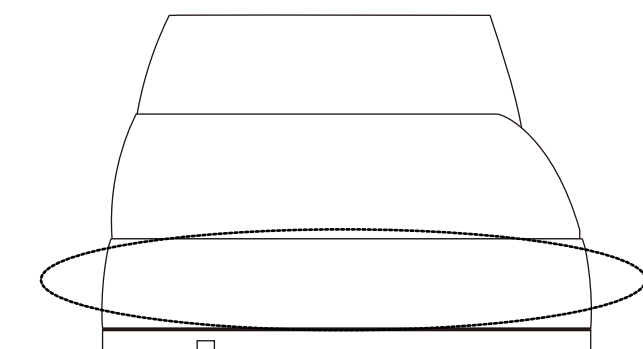
照度(CDS)センサー
明るさを感じて、モノクロ
(IR照射)に切り換えます

○背面（取付面）



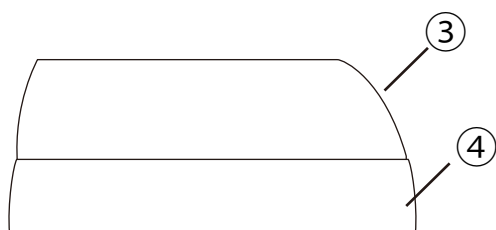
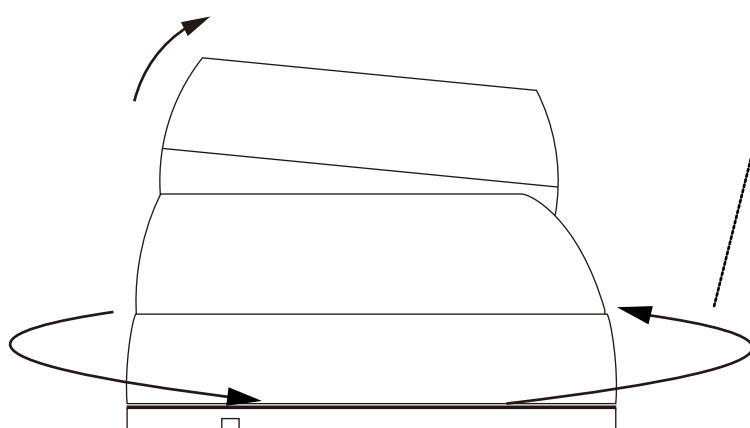
カメラを取付ける際にビスを
通します。径は4mmです。

稼働部分の操作方法



カメラ固定リング

この部分を手で捻って緩めることで、カメラ部を固定している部分を動かすことができます。

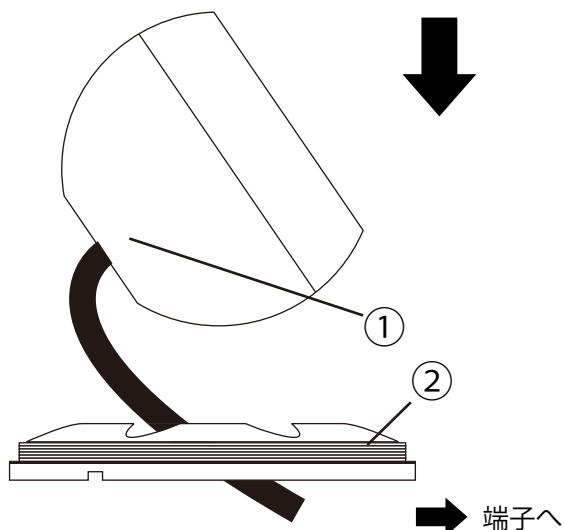


分解するとこのような構造になります。
ここまで分解せず固定リングを少し
緩めることでカメラ部は角度を変えられ
ます。

※設置面固定時は、分解が必要です。

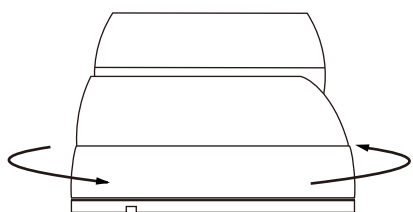
分解した場合は、下記の手順で
組み立てます。

1. ①カメラ部を②台座に乗せます。
2. ③のカメラ固定部をカメラ部に被せます。
3. ④のカメラ固定リングをかぶせ、②台座のネジ山に合わせてゆっくり締めます。



設置例

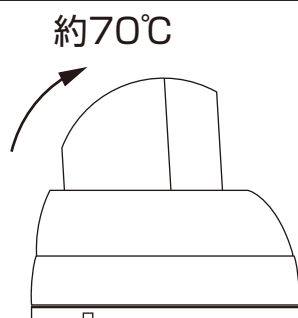
①



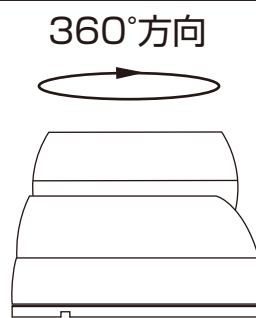
カメラ固定リングを緩めます。ベース部分とリング部分を持って緩めてください。

カメラ部を固定している部分は本体の胴とベースです。
この部分を外れない程度まで緩めて、カメラのレンズ部分の方向を変えます。

②



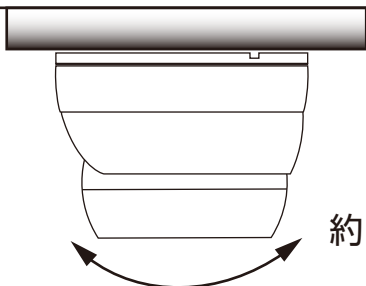
約70°



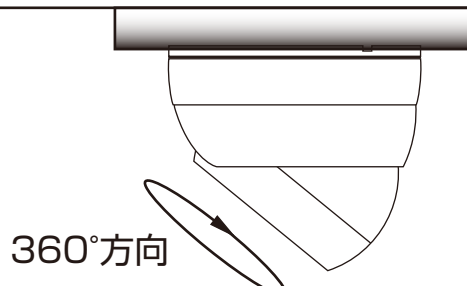
360°方向

固定リングが緩んでいる状態から、レンズは真上から真横まで約90°回転します。
レンズの方向も360°回転させられます。

③



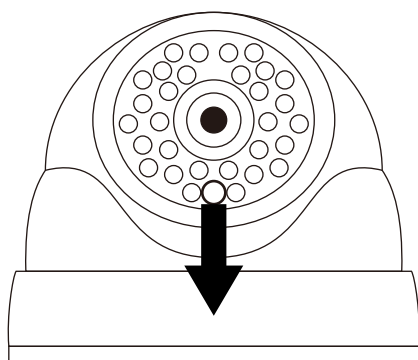
約140°



360°方向

※設置前に必ずモニターに映し、設置位置や向きを確認して下さい。

映像では上

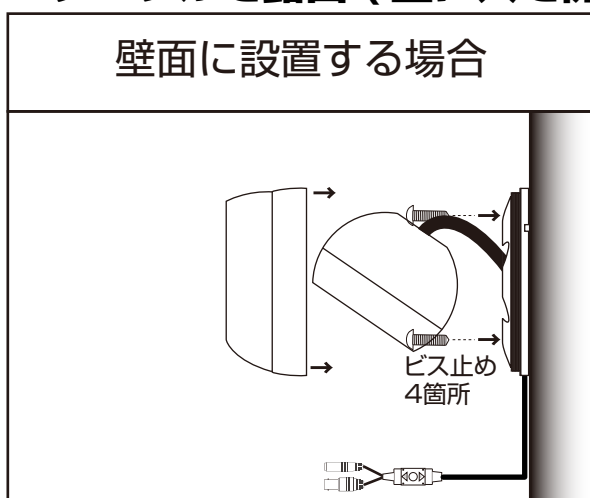


映像では下

注)カメラの正位置は「照度(CDS)センサーP4参照」が、
下を向いている状態が上下正位置です。
天井に設置(上下反転)する場合には、照度センサーの位置で
正しい上下の映像となっているかを確認できます。
ですが必ずモニターを見ながら上下左右の位置を決める
ようにして取り付けてください。

設置例

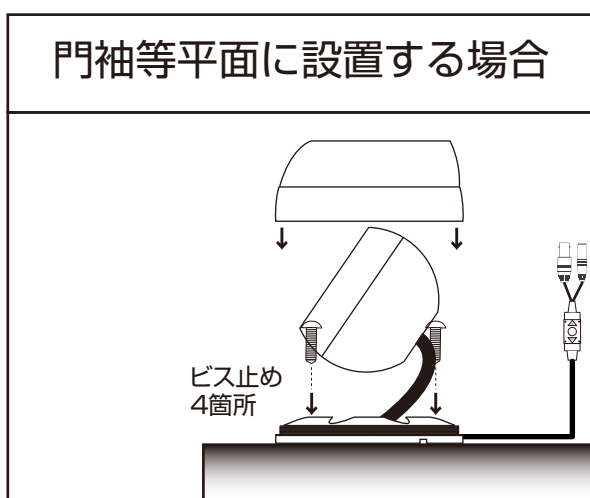
※ケーブルを露出（壁に穴を開けない）場合の配線例です。



壁面に設置する際は、図のように設定ビスを使用してください。

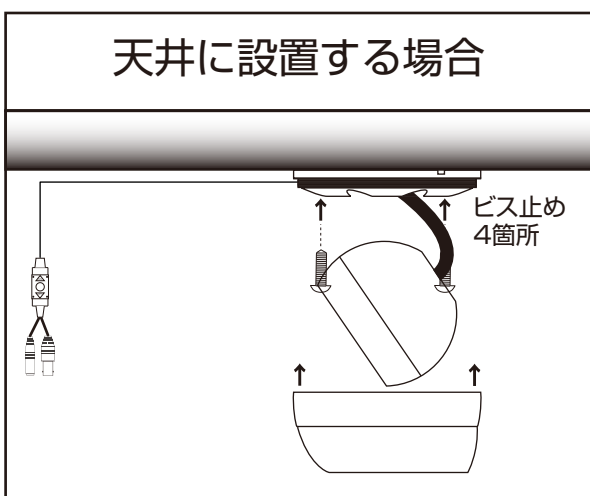
※ビスは取付面の素材にあったものをご用意いただくとよりしっかり固定できます。

カメラ本体の分解と組み立てについてはP4を参照してください。



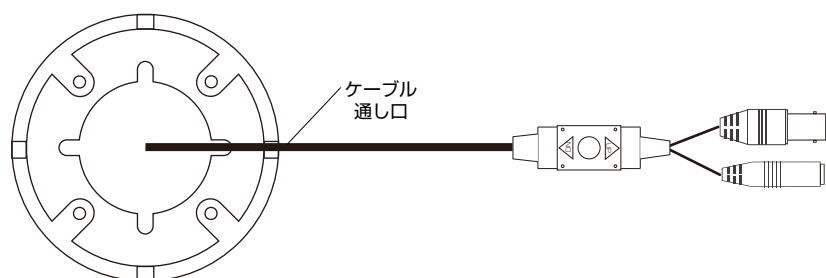
門袖等の平面に設置する際は、図のように設置ビスを使用してください。

本機器は図の角度以上に曲げることは、できません。



天井面に設置する際は、図のように設置ビスを使用してください。

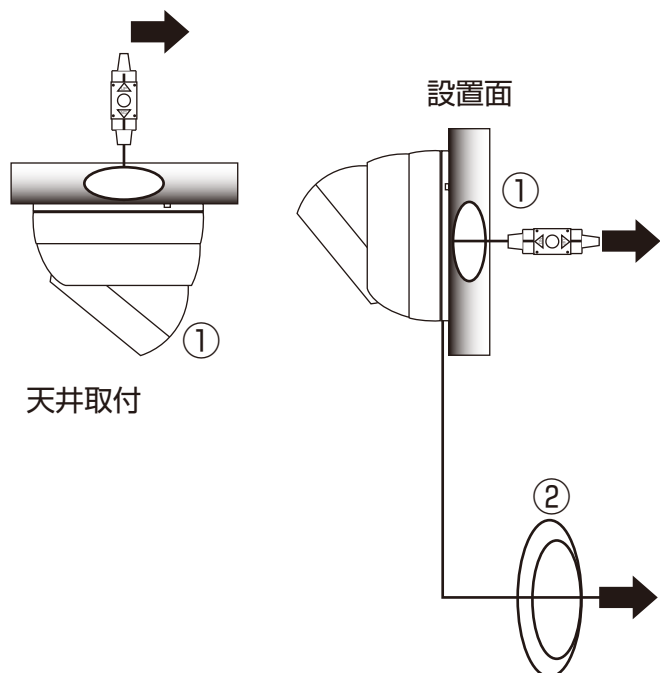
角度変更は右図の②と、④を参照して向きを変更します。



※各図のケーブルは、ケーブル通し口から壁面を伝うように設置しています。その際は、P6④を参照し、あらかじめ決めてあるケーブルの配線方向へ、ケーブルを伝わらせてください。

※本製品を屋外で長期間使用される場合、直接日光や雨により設置面などが劣化しカメラの落下事故につながる可能性があります。設置場所は安全な場所を選んでください。そしてカメラの定期的な点検をお願いいたします。

配線接続方法



屋外から屋内にケーブルを通す方法は、大きく分けて2種類あります。

①設置面に穴を開けてケーブルを通す方法
※設置面に端子の通る大きさの穴を開け、ケーブルを通してからカメラを設置します。
この場合、設定ボタンが操作できるよう工夫する必要がありますので、ご注意ください。

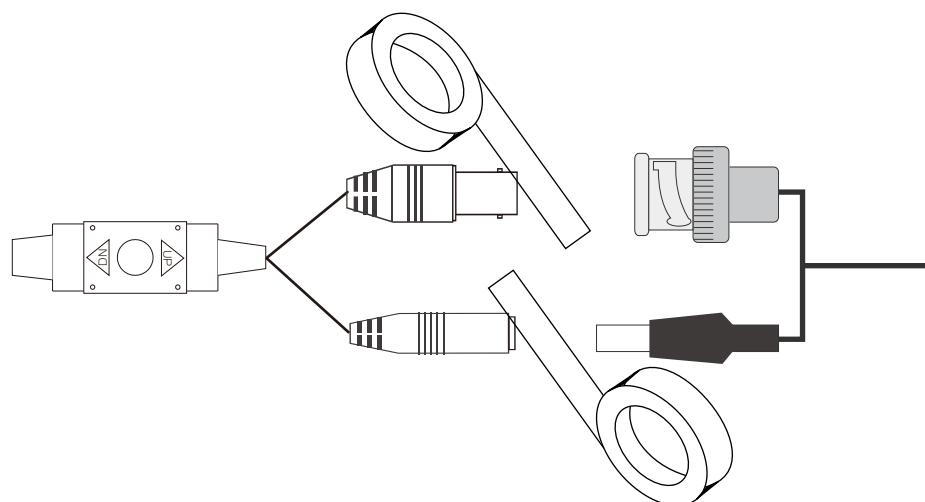
②壁面を這わせ（P7参照）開口部から室内に通す方法
※設定ボタンが操作できるよう工夫する必要がありますので、ご注意ください。

例：エアコンのダクト部分

※屋内の天井に設置する場合は、上記①の図と説明の通り天井面に穴を開けてケーブルを通し、天井裏で配線し接続するなどの方法もあります（一例として）。
また、P7の図のように壁面に這わせて配線する方法もあります。

注) ②の配線時には、窓のサッシなど開閉部に細いケーブルを挟むことで屋外との配線を行うことも考えられます。ですが開閉時にケーブルに負荷がかかり断線の危険もあるため、この方法は絶対に選択しないでください。

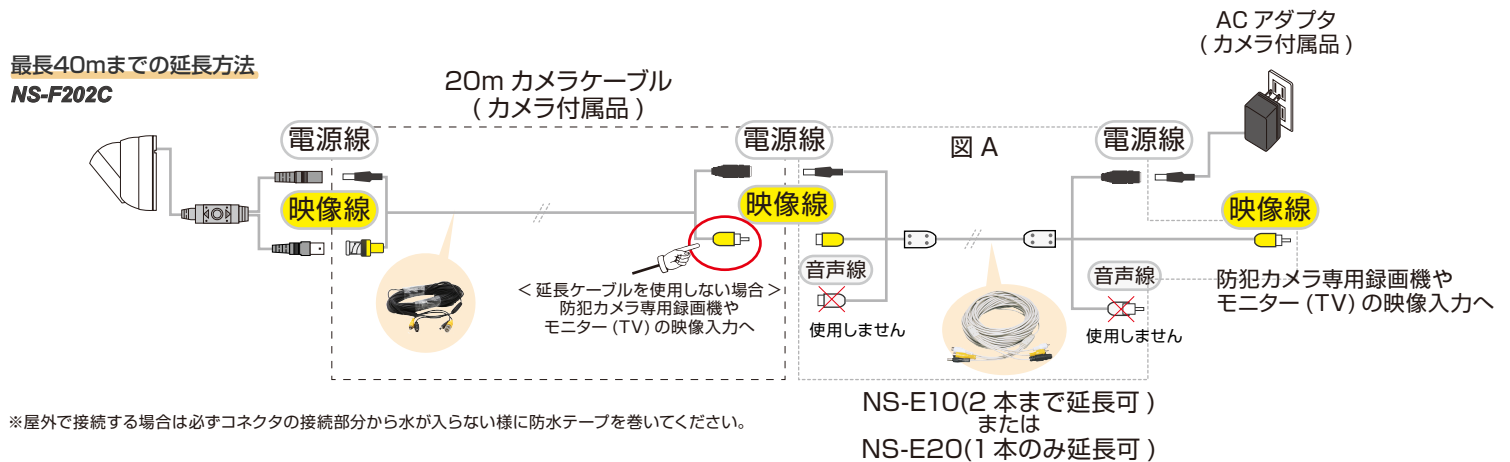
※また極端にケーブルを曲げることはノイズ、劣化の原因となりますので線をたわませるなどご注意願います。



カメラを屋外に設置する場合、各端子は接続後繋いだ場所で防水加工を行ってください。

防水加工には各端子を接続し、防水テープ(各種)で巻いてください。

接続図



接続手順

- 1.配線の順路を考慮してカメラを設置面に取り付けます。
- 2.ケーブルを這わせて、付属ケーブル（20m）と接続します。

※延長ケーブルを接続する場合は図Aの接続図をご確認ください。

また、下記にご注意ください。

注) 延長ケーブルは必ず弊社製「**NS-E10**」 / 「**NS-E20**」をご使用ください。

注) 本機器は最大延長**40m**までとなっております。

最大延長40mとは、

例：付属20mケーブル+NS-E20×1(or NS-E10×2)までとなります。

- 3.電源端子、映像端子をそれぞれ接続します。電源端子は付属のACアダプターと100Vコンセントをつなぎます。映像端子はモニターTVや、録画装置の映像入力端子と接続します。

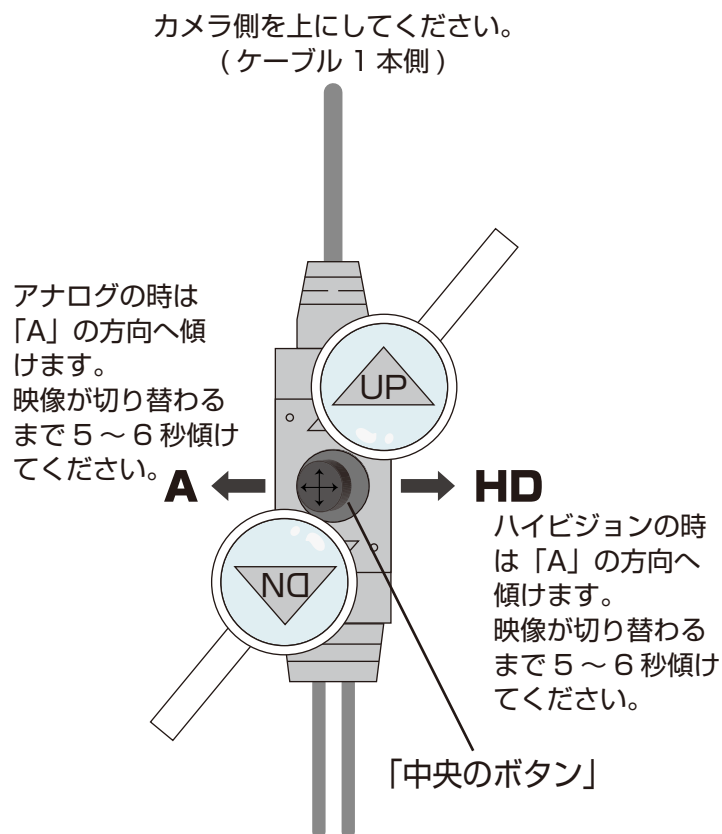
※弊社製録画装置「**NS-F401MR**」については、すぐに接続できるように同梱品を準備してあります。

メニュー設定

■メニュー設定はボタン（下図参照）を操作し、カメラをモニター（DVR）に接続して設定します。設定メニューはモニターの画面上に表示されます。モニターを見ながら設定する必要があるため、設置施工する前に、カメラを屋外など撮影場所に向けた状態で行います。初期値ではほとんど自動設定となっておりますが、設置環境によっては以後の設定が必要となる場合がありますので、その際は設置場所を映し設定を行ってから設置施工してください。

※初期の設定画面（設定開始時に表示される画面）

MAIN MENU	
▶1.LENS	MANUAL
2.EXPOSURE	↵
3.BACKLIGHT	OFF
4.WHITE BAL	ATW
5.DAY&NIGHT	EXT↵
6.NR	↵
7.SPECIAL	↵
8.ADJUST	↵
9.EXIT	SAVE&END↵



操作方法

- ①コントローラー本体の中央のボタンを押しします。
※メニュー設定の各項目は、モニター画面上にカメラ映像の上に表示されます。
ボタン操作は、「中央のボタン」を上下左右に倒すことで以下の操作に対応します。
倒す方向は上記図の位置関係と、ボタンの刻印、この取扱説明書を確認してください。
- ②変更したい項目へ選択カーソルを移動させる場合は、「(以後)、UP(上)、DN(下)ボタン」が対応します。
- ③項目の内容を変更する場合は「A(左)、HD(右)ボタン」が対応します。
- ④各メニュー項目の[↵]の表示は「Sボタン」を押すことで、サブメニュー（次画面）に入ることができます。
- ⑤「RETURN↵」で「中央のボタン」を押すことで、1つ前の画面に戻ります。
- ⑥「SAVE&END↵」で「中央のボタン」を押すことで、設定値が保存されます。
- ⑦「EXIT↵」で「中央のボタン」を押すことで、設定が完了し画面が消えます。

※RETURN(RETURN↵⇔SAVE&END↵)
「RETURN↵」：前ページに戻ります。
「SAVE&END↵」：保存しライブ映像に戻ります。

MAIN MENU

■設定手順は前ページのボタン操作を参考に行ってください。

<1.LENS>

「MANUAL」で使用します。(設定変更はできません。)

<2.EXPOSURE>

設置した場所の光量が多い少ないによって映像が正常に映らず、設定を変更する必要がある場合に選択します。映像の明暗が極端な場合はシャッター速度を変更してください。

次画面で各項目を設定します。

※設定では昼夜問わず補正を行いますので、実際の光量の状態で設定を行ってください。

EXPOSURE	
▶1.SHUTTER	AUTO
2.AGC	—— 10
3.SENS-UP	OFF
4.BRIGHTNESS	—— 50
5.D-WDR	OFF
6.DEFOG	OFF
7.RETURN	RET ↵

1.SHUTTER(AUTO⇔1/60⇔FLK⇔1/240～×30⇔)

「AUTO」： シャッター速度はこのまま「AUTO」で使用してください。

「1/60」： それでも「AUTO」で適応できない環境下の場合は、速度を「1/60,1/240,1/480,1/1000,1/2000,1/5000,1/10000,1/50000,×2,×4,×6,×8,×10,×15,×20,×25,×30」の中から設定してください。

「FLK」： 50Hz地域での蛍光灯下使用時は、「FLK」を選択してください。フリッカ(明滅)を軽減します。

2.AGC(0～15)

ゲイン値を上げることで映像が明るくなりますが、ノイズも増えます。

実際の映像を確認して「(暗)0～15(明)」より、必要な場合のみ設定します。

※明るさによっては変化が出ない場合もあります。※0の場合「SENS-UP」の設定はできません。

3.SENS-UP(OFF⇔AUTO↵),(――)

「OFF」： 変更する必要が無ければこのまま使用します。

「AUTO↵」： 1.SENS-UP(×2～×30)

低照度時の感度を上げ、映像を明るくします。ノイズやゴースト(動体の残像)が強くなるため、使用時の映像を確認しながら「×2,×4,×6,×8,×10,×15,×20,×25,×30(明)」より設定してください。

2.RETURN※

「――」： 「AGC」が「0」の場合は「――」と表示され設定できません。

SENS-UP	
▶1.SENS-UP	×2
2.RETURN	RET ↵

4.BRIGHTNESS(1～100)

映像の輝度を「(暗)1～100(明)」の間で設定します。輝度を一定に調整するため、昼夜の明るさの違いにご注意ください。

5.D-WDR(OFF⇔ON↵⇔AUTO⇔)

「OFF」： 変更する必要が無ければこのまま使用します。

「ON↵」： 1.D-WDR(0～8)

逆光時の明暗差を少なくする補正を行います。レベルを「(暗)0～8(明)」より画像を確認しながら選択してください。

2.RETURN※

「AUTO」： 逆光時の明暗差を少なくする補正を自動で行います。

※RETURN(RET↵⇔SAVE&END↵)

「R E T ↵」： 前ページに戻ります。

「SEVE&END↵」： 保存しライブ映像に戻ります。

MAIN MENU

6.DEFOG(OFF⇔AUTO↵↻)

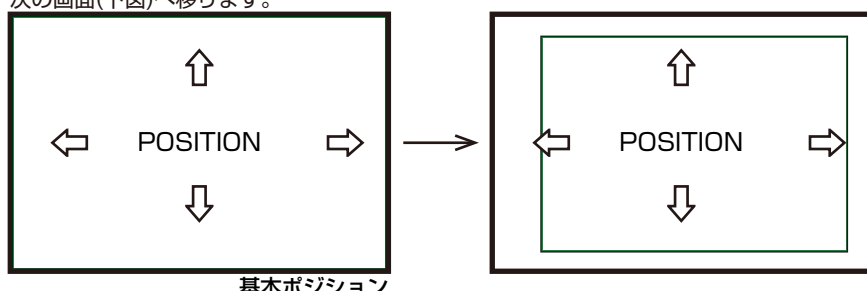
「OFF」：変更する必要が無ければそのまま使用します。

「AUTO」：1.POS/SIZE

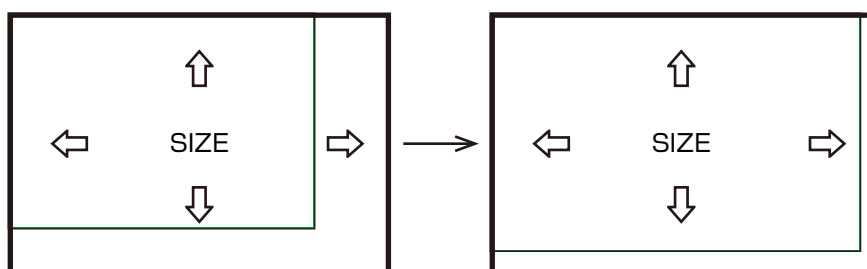
緑の枠内のみ、屋外設置時に霧や激しい雨等で霞んだ映像を補正します。

DEFOG	
▶ 1.POS/SIZE	↵
2.GRADATION	0
3.DEFAULT	↵
4.RETURN	RET ↵

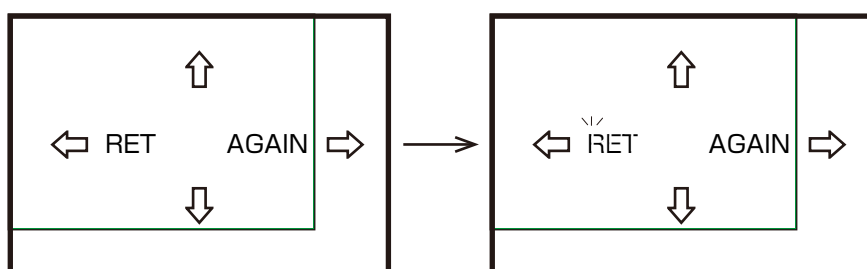
リモコンの中央のボタンを押すと
次の画面(下図)へ移ります。



リモコンの中央のボタンを上下左右に傾けます。
傾けた方向に緑の枠が移動します。



リモコンの中央のボタンを下もしくは右に傾けます。
傾ける毎に緑の枠が傾けた方向に広がります。
リモコンの中央のボタンを上もしくは左に傾けます。
傾ける毎に緑の枠が傾けた方向に狭まります。



リモコンの中央のボタンを左に傾けると「RET」に移動します。
リモコンの中央のボタンを押すと、前頁に戻ります。
リモコンの中央のボタンを右に傾けると「AGAIN」に移動します。
中央を押すと、「POSITION」の画面に戻ります。

2.GRADATION(0~2)

画面のコントラストと透明度の切り替えが「(高)0~2(低)」より選択できます。

3.DEFAULT

全ての設定が「基本ポジション」に戻ります。

4.RETURN※

緑の枠内は、DEFOG設定中



緑の枠外は、DEFOG未設定

※RETURN(RET ↵⇔SAVE&END ↵)
「R E T ↵」：前ページに戻ります。
「SEVE&END ↵」：保存しライブ映像に戻ります。

MAIN MENU

<3.BACKLIGHT> 逆光補正をします。「OFF」⇔「BLC ↓」⇔「HSBLC ↓」より選択できます。

「OFF」

変更する必要がなければそのまま使用します。

「BLC ↓」:

逆光の強い場所で撮影する場合に被写体が暗く映ってしまう現象を補正し、鮮明度を改善します。

1.LEVEL

「MIDDLE」⇔「HIGH」⇔「LOW」より選択します。

2.AREA

画面中央に白いマスが表示されます。

リモコンの中央のボタンを押す度に「POSITION」

⇔「SIZE」⇔「RET(AGAIN)」に切り替えます。

※白いマスの変更方法は、P12「6.DEFOG」を参照ください。

3.DEFAULT

全ての設定が「基本ポジション」に戻ります。

4.RETURN(RET ↓⇔SAVE&END ↓)

「RET ↓」: 前ページに戻ります。

「SEVE&END ↓」: 保存しライブ映像に戻ります。

「HSBLC ↓」:

極端に明るい場所にマスクをかけて、暗い場所を鮮明に撮影する事ができます。暗所撮影時のライトの灯りが邪魔な場合等。

1.SELECT

AREA1 ~ AREA4より選択できます。

2.DISPLAY

「OFF」 1.SELECTで選択中の「AREA」が消えます。

「ON ↓」では、各エリアの白枠の「POSITION」と「SIZE」を変更できます。

※詳しい設定方法は、P12「6.DEFOG」を参照ください。

3.BLACK MASK

「OFF」 1.SELECTで選択中のマスクが消えます。

4.LEVEL(0~100)

レベルを「(大)0~100(小)」の中から合わせることによって、マスクのサイズを大きくしたり、小さくしたりすることができます。

5.MODE

「ALL DAY」 灯りの強さに関係なくマスクがかかります。

「NIGHT」 1.AGC LEVEL(0~255)

↓ 弱い灯り、強い灯りに対して、マスクの設定ができます。「(弱灯)0~255(強灯)」

2.RETURN※

6.DEFAULT

全ての設定が「基本ポジション」に戻ります。

7.RETURN※

BLC	
▶ 1.LEVEL	MIDDLE
2.AREA	↓
3.DEFAULT	↓
4.RETURN	RET ↓

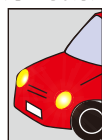


BLC が OFF の場合

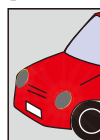


BLC が ON の場合

HSBLC	
▶ 1.SELECT	AREA 1
2.DISPLAY	ON ↓
3.BLACK MASK	ON
4.LEVEL	20
5.MODE	ALL DAY
6.DEFAULT	↓
7.RETURN	RET ↓



HLC が OFF



HLC が ON

AREA 1	AREA 2
AREA 3	AREA 4

NIGHT MODE	
▶ 1.AGC LEVEL	48
2.RETURN	RET ↓

※RETURN(RET ↓⇔SAVE&END ↓)
「R E T ↓」: 前ページに戻ります。
「SEVE&END ↓」: 保存しライブ映像に戻ります。

MAIN MENU

<4.WHITE BAL> 白い被写体を撮影した時に、白く映るよう調整する機能です。

「ATW」

変更する必要がなければそのまま使用します。

光源(太陽など)による白色を基準とした色の変化がある場合下記の設定をします。

「AWC→SET」:

中央のボタンを押した瞬間の色味(白色)を基準とします。

光源が一定の環境下でのみ使用し設置場所に応じて選択します。

「INDOOR」:

屋内用に自動で設定されます。

「OUTDOOR」:

屋外用に自動で設定されます。

「MANUAL」: (MANUAL WBへ)

1.「BLUE」} 屋内/屋外設定でも補正しきれない色味の場合に、

2.「RED」} 「(弱)0~100(強)」の間数値で調整します。

3.RETURN※

「AWB」:

「ATW」と同様の機能です。「ATW」での補正が合わない場合に選択してください。

※基本的にはATWで使用してください。

MANUAL WB	
▶ 1.BLUE	50
2.RED	50
3.RETURN	RET ↵

<5.DAY&NIGHT> 昼/夜のモード切替について設定します。

「EXT」: (D&N EXTへ)

1.「D→N(DELAY)」DAYからNIGHTに切り替る時間(秒数)を「(早)0~60(遅)」より設定できます。

2.「N→D(DELAY)」NIGHTからDAYに切り替る時間(秒数)を「(早)0~60(遅)」より設定できます。

3.RETURN※

「AUTO」: (D&N AUTOへ)

この機能は使用しません。

メニューに入った時は、「5.RETURN」より前頁へ戻ってください。

「COLOR」:

昼モード(カラー)の状態に固定します。赤外線は照射されます。

「B/W」: (B/Wへ)

夜モード(白黒)の状態に固定します。赤外線は照射されます。

1.BURST:低照度撮影時に色信号を同期するためにバースト信号を出力します。

「OFF」⇔「ON」で切り替えます。

2.IR SMART:

「OFF」

「ON」 (IR SMARTへ)

1.LEVEL: 「(広)0~15(狭)」

2.AREA: 範囲を設定できます。

設定方法はP12「6.DEFOG」を参照ください。

3.RETURN※

3.IR PWM:

「OFF」⇔「1~100」より設定します。

4.RETURN※

D&N EXT	
▶ 1.D→N(DELAY)	3
2.N→D(DELAY)	3
3.RETURN	RET ↵

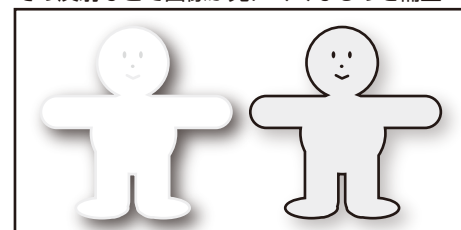
D&N AUTO	
▶ 1.D→N(CDS)	48
2.D→N(DELAY)	1
3.N→D(CDS)	1
4.N→D(DELAY)	3
5.RETURN	RET ↵

B/W	
▶ 1.BURST	OFF
2.IR SMART	OFF
3.IR PWM	100
4.RETURN	RET ↵

IR SMART	
▶ 1.LEVEL	3
2.AREA	↵
3.RETURN	RET ↵

IR SMART(スマートIR機能)

夜間、赤外線LEDを使用した場合、その反射などで画像が見にくくなるのを補正



※RETURN(RET ↵)⇔SAVE&END ↵
「R E T ↵」: 前ページに戻ります。
「SEVE&END ↵」: 保存しライブ映像に戻ります。

MAIN MENU

<6.NR> 画面上のノイズをデジタル処理によって低減させるノイズリダクション機能です。

- 1.「2DNR」:「HIGH」⇄「OFF」⇄「LOW」⇄「MIDDLE」
変更する必要がなければそのまま使用します。ノイズ補正が有効である場合、明るさが低減する場合もあるので、画面を見ながら調整してください。
- 2.RETURN※

NR	
▶1.2DNR	MIDDLE
2.3DNR	MIDDLE
3.RETURN	RET ↩

<7.SPECIAL> カメラ名の設定、言語設定等を行います。

- 1.「CAM TITLE」:「OFF」⇄「ON」(CAM TITLEへ)
個々のカメラに名前を付けることができます。
左右にカーソルを移動し、決定は中央のボタンを押します。
「CLR」で決定すると、入力した文字を全て消します。
「POS」で決定すると、画面が位置決めに切り替わります。
リモコンの「上下左右」を使って好みの位置に設定します。
中央のボタンを押すと前頁に戻ります。
「END」で決定すると、前頁に戻ります。
※一度保存した名前は、リセットをしても消えません。

CAM TITLE
0123456789
ABCDEFGHIJK
LMNOPQRSTU
VWXYZ▶←→↑↓()
—_■/=&:~.,.
←CLR POS END

SPECIAL	
▶1.CAM TITLE	OFF
2.D-EFFECT	↩
3.MOTION	OFF
4.PRIVACY	OFF
5.LANGUAGE	ENG ↩
6.DEFECT	↩
7.RS485	↩
8.RETURN	RET ↩

2.「D-EFFECT」:

- 1.FREEZE:「OFF」⇄「ON」
「ON」を選択した瞬間の映像を静止画にします。「OFF」で解除してください。
- 2.MIRROR:「OFF」⇄「MIRROR」⇄「V-FLIP」⇄「ROTATE」



正位置



垂直反転



水平反転



垂直水平反転

3.NEG.IMAGE:「OFF」⇄「ON」

- 「ON」に設定すると、ネガフィルムの様に被写体の明暗や色が反転した画像になります。
- 4.RETURN

D-EFFECT	
▶1.FREEZE	OFF
2.MIRROR	OFF
3.NEG.IMAGE	OFF
4.RETURN	RET ↩

3.「MOTION」:「OFF」⇄「ON」(MOTIONへ)

- 1.SELECT
AREA1～AREA4より選択できます。
- 2.DISPLAY
「OFF」1.SELECTで選択中の「AREA」が消えます。
「ON」では、各エリアの色枠の「POSITION」と「SIZE」を変更できます。
※詳しい設定方法は、P12「6.DEFOG」を参照ください。



3.SENSITIVITY

- 動体検知の感度を「(弱)0～100(強)」設定します。
AREA1と2、AREA3と4が同時に設定されます。

4.COLOR

エリア枠の色を変更できます。「GREEN」⇄「BLUE」⇄「WHITE」⇄「RED」

5.TRANSは、モーション反応時に表示されるモザイクの透明度を設定します。

「1.00(100%)」⇄「0.25(25%)」⇄「0.50(50%)」⇄「0.75(75%)」

※1.00は不透明です。

6.ALARM

- 1.VIEW TYPE:「ALL」⇄「OFF」⇄「BLOCK」⇄「OUTLINE」
- 2.OSD VIEW:「ON」⇄「OFF」
- 3.ALARM OUT.:「ON」⇄「OFF」
- 4.ALARM SIG.:「LOW」⇄「HIGH」
- 5.TIME:「1～15」
- 6.RETURN※
- 7.DEFAULT
モーション設定を初期値に戻します。

MOTION	
▶1.SELECT	AREA 1
2.DISPLAY	ON ↩
3.SENSITIVITY	———64
4.COLOR	GREEN
5.TRANS	1.00
6.ALARM	↩
7.DEFAULT	↩
8.RETURN	RET ↩

ALARM	
▶1.VIEW TYPE	ALL
2.OSD VIEW	ON
3.ALARM OUT.	ON
4.ALARM SIG.	HIGH
5.TIME	———3
6.RETURN	RET ↩

※RETURN(RET ↩⇄SAVE&END ↩)
「R E T ↩」:前ページに戻ります。
「SEVE&END ↩」:保存しライブ映像に戻ります。

MAIN MENU

4. 「PRIVACY」: 「OFF」⇄「ON」 (PRIVACYへ)

「ON」: 画面上の任意の場所をマスキングして見えないように設定します。

初期設定は、エリア1(白のべた塗り)、エリア2(モザイク)、エリア3(ネガ)、エリア4(黄色のべた塗り)になっています。

1.SELECT

設定するエリアを1~4より選択します。

2.DISPLAY

「COLOR」⇄「OFF」⇄「MOSAIC」⇄「INV.」の3種類から

マスキング方法、位置、サイズを設定します。

「POSITION」と「SIZE」の設定方法は、P12「6.DEFOG」を参照ください。

- ・「COLOR」: べた塗りでマスクをします。「3.COLOR」より色を選択できます。
- ・「MOSAIC」: モザイクでマスクをします。
- ・「INV.」: ネガ設定でマスクをします。

3.COLOR

「WHITE(白)」⇄「BLACK(黒)」⇄「RED(赤)」⇄「BLUE(青)」⇄

「YELLOW(黄)」⇄「GREEN(緑)」⇄「CYAN(シアン)」⇄

「USER(本機では濃緑)」の中からマスクする色を選択します。

4.TRANS.

「COLOR」でマスクを設定した場合の透明度を設定できます。

「1.00(100%)」⇄「0.25(25%)」⇄「0.50(50%)」⇄「0.75(75%)」

5.DEFAULT

全てのマスクの設定を初期値に戻します。

6.RETURN※

5. 「LANGUAGE」: 中央のボタンを押すと言語を変更できます。日本語はありません。

「ENG」⇄「CHN1」⇄「CHIN2」⇄「GER」⇄「FRA」⇄「ITA」⇄「SPA」⇄

「POL」⇄「RUS」⇄「POR」⇄「NED」⇄「TUR」⇄

※本書は初期値の英語を元に作成しております。

6. 「DEFECT」: 「OFF」⇄「ON」 (DEFECTへ)

「ON」: ドット落ちを修正する機能です。通常は「OFF」で使います。

1.LIVE DPC: 「OFF」⇄「ON」

「ON」: 画面上の赤い点などを修正します。

- ・1.AGC LEVEL: 「0~255」数値が大きいと「点」がより強調されます。
- ・2.LEVEL: 「0~100」数値が大きいほど修正効果が大きくなります。
- ・3.RETURN※

2.WHITE DPC: 「OFF」⇄「ON」

「ON」: 画面上の白い点を修正します。

- ・1.POS/SIZE: 修正位置や範囲を設定します。
設定方法は、DEFOGを参照ください。
- ・2.START: リモコン中央のボタンを押すと、CLOSE THE IRIS THEN PRESS ENTER」と、メッセージが表示されます。レンズを遮り、もう一度リモコン中央のボタンを押して下さい。1.POS/SIZEで設定した範囲の修正を始めます。
- ・3.DPC VIEW: 修正済みの「点」を表示します。なにもなければ真っ黒画面です。
- ・4.LEVEL: 「0~60」数値が大きいほど修正効果が大きくなります。
- ・5.AGC: 「0~14」数値が大きいと白色や赤色の「点」がより強調されます。
- ・6.SENS-UP: 「×2, ×4, ×6, ×8, ×10, ×15, ×20, ×25, ×30」
数値が大きいほど映像の明るさをアップして、白い点を修正します。
- ・7.RETURN※

3.BLACK DPC: 「OFF」⇄「ON」

「ON」: 画面上の黒い点を修正します。

- ・1.POS/SIZE: 修正位置や範囲を設定します。
設定方法は、DEFOGを参照ください。
- ・2.START: リモコン中央のボタンを押すと、下記のメッセージが表示されます。
「PRESS ENTER」もう一度リモコン中央のボタンを押して下さい。

1.POS/SIZEで設定した範囲の修正を始めます。

- ・3.DPC VIEW: 修正済みの「点」を表示します。なにもなければ真っ白画面です。
- ・4.LEVEL: 「0~255」数値が大きいほど修正効果が大きくなります。

※黒い点を修正する場合は、レンズを遮らなく、白い壁に向かって修正してください。

- ・5.RETURN※

PRIVACY	
▶ 1.SELECT	AREA 1
2.DISPLAY	COLOR ↵
3.COLOR	WHITE
4.TRANS.	1.00 ↵
5.DEFAULT	↵
6.RETURN	RET ↵

DEFECT	
▶ 1.LIVE DPC	ON ↵
2.WHITE DPC	ON ↵
3.BLACK DPC	ON ↵
4.RETURN	RET ↵

LIVE DPC	
▶ 1.AGC LEVEL	176
2.LEVEL	— 50
3.RETURN	RET ↵

WHITE DPC	
▶ 1.POS/SIZE	↵
2.START	↵
3.DPC VIEW	OFF
4.LEVEL	30
5.AGC	14
6.SENS-UP	×2
7.RETURN	RET ↵

BLACK DPC	
▶ 1.POS/SIZE	↵
2.START	↵
3.DPC VIEW	OFF
4.LEVEL	65
5.RETURN	RET ↵

※RETURN(RET ↵⇄SAVE&END ↵)

「R E T ↵」: 前ページに戻ります。

「SAVE&END ↵」: 保存しライブ映像に戻ります。

MAIN MENU

7.「RS485」:使用しません。
8.RETURN※

<8.ADJUST>

- 1.「SHARPNESS」:「AUTO」⇄「OFF」
「AUTO」:輪郭を強調します。
1.LEVEL:「(弱)0~10(強)」より選択できます。
2.START AGC:「0~255」より選択できます。
3.END AGC:「0~255」より選択できます。
4.RETURN※
- 2.「MONITOR」:「CRT」⇄「LCD」
「LCD」:このまま使用してください。
1.BLACK LEVEL:「(黒系)0~60(白系)」より選択できます。
2.BLUE GAIN:「0~100」
3.RED GAIN:「0~100」
4.RETURN※
「LCD」:映像を立体的に見せるよう明暗を強調します。
1.BLACK LEVEL:「0~60」
2.GAMMA:「(明)0.45~1.00(暗)」より0.05ピッチで設定ができます。
3.BLUE GAIN:「0~100」
4.RED GAIN:「0~100」
4.RETURN※
- 3.「LSC」:「ON」⇄「OFF」
※「ON」のまま使用してください。
- 4.「VIDEO OUT」:「NTSC」⇄「PAL」
※「NTSC」のまま使用してください。
- 5.「COMET」:「OFF」⇄「ON」
※「OFF」のまま使用してください。
- 6.RETURN※

RS485	
▶1.CAM ID	1
2.ID DISPLAY	OFF
3.BAUDRATE	38400
4.RETURN	RET ↵

ADJUST	
▶1.SHARPNESS	AUTO ↵
2.MONITOR	LCD ↵
3.LSC	ON
4.VIDEO OUT	NTSC
6.COMET	OFF
7.RETURN	RET ↵

SHARPNESS	
▶1.LEVEL	6
2.START AGC	128
3.END AG	160
4.RETURN	RET ↵

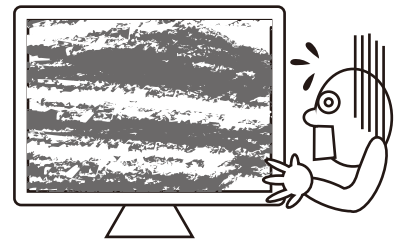
CRT	
▶1.BLACK LEVEL	33
2.BLUE GAIN	70
3.RED GAIN	70
4.RETURN	RET ↵

LCD	
▶1.BLACK LEVEL	0
2.GAMMA	USER
3.BLUE GAIN	50
4.RED GAIN	50
5.RETURN	RET ↵

※RETURN(RET ↵⇄SAVE&END ↵)
「R E T ↵」:前ページに戻ります。
「SEVE&END ↵」:保存しライブ映像に戻ります。

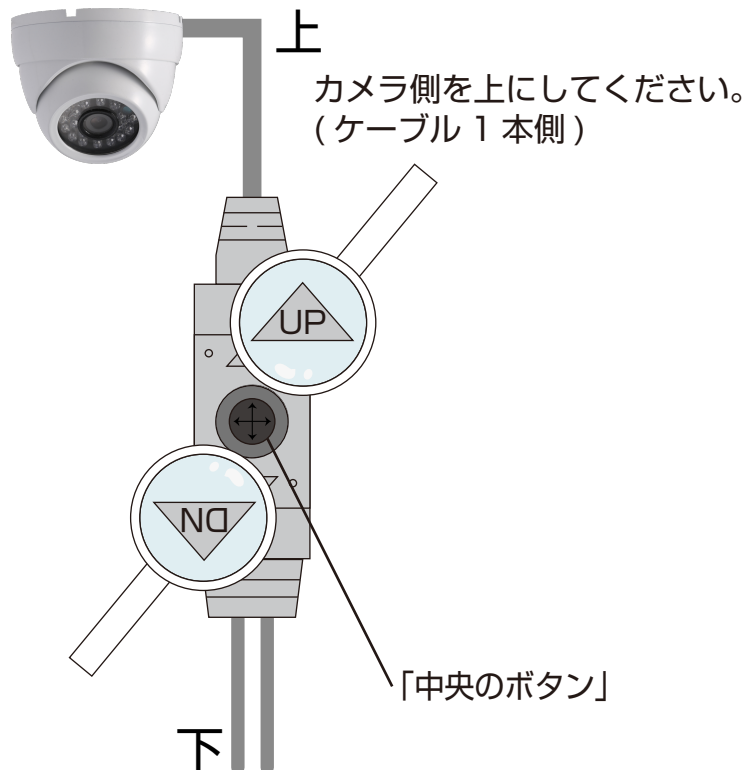
お困りの時は1-1

- 既存のレコーダーに接続した場合、映像が乱れる!! 映像が映らない!!
 - 既存のモニター (TV) に接続した場合、映像が映らない!! 画面が青い!!
 - NS-F401MR に接続した場合、別のカメラに「CVBS」の文字が!!
- これらの症状は故障ではありませんので、下記の方法を試してみてください。



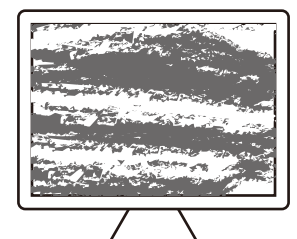
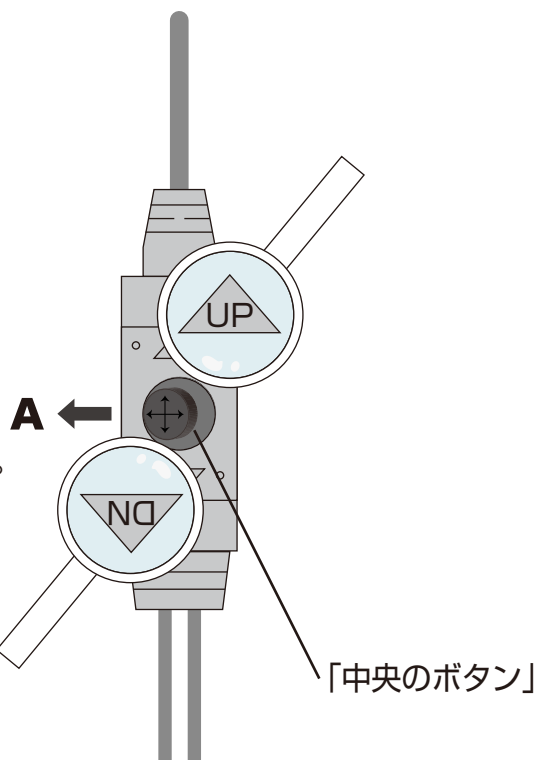
- ① カメラのケーブルに付いているリモコンを操作します。
下図の通りケーブル 1 本側を上、ケーブル 2 本側を下にしてください。

基本ポジションです。



- ② 上図の状態「中央のボタン」を左に傾けます。
映像が切り替わるまで 5 ～ 6 秒傾け続けてください。

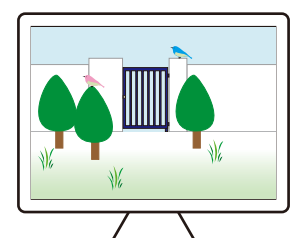
「A」の方向へ傾けます
映像が切り替わるまで
5 ～ 6 秒傾けてください。



※接続の機種によって青色の画面だったり表示が違います。



※接続の機種によって表示が違います。

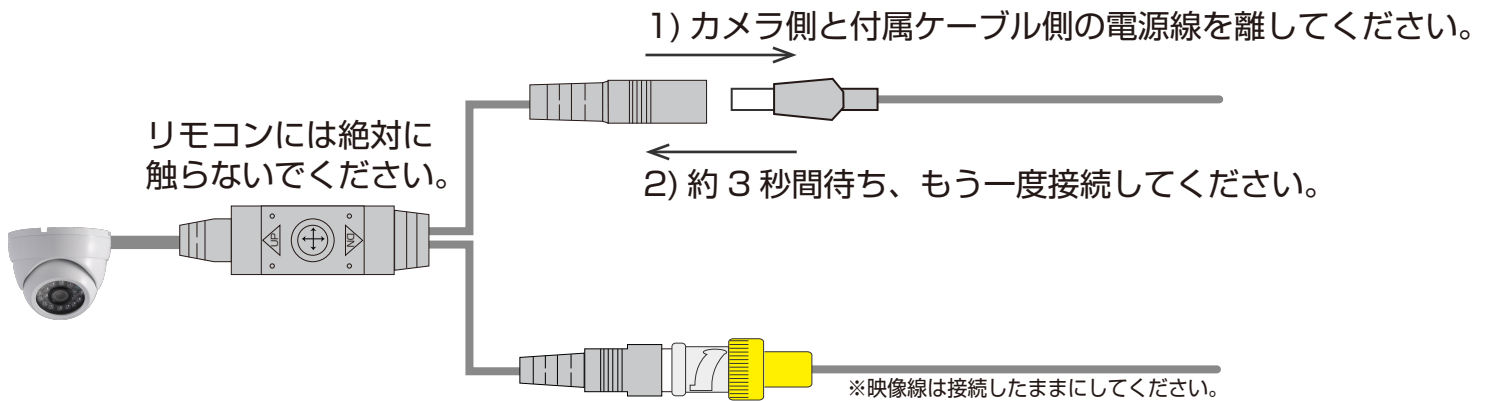
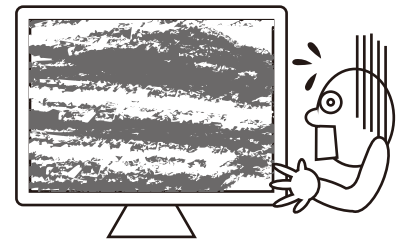


切り替りの流れ

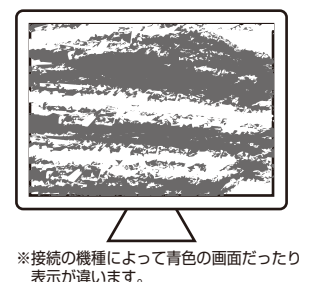
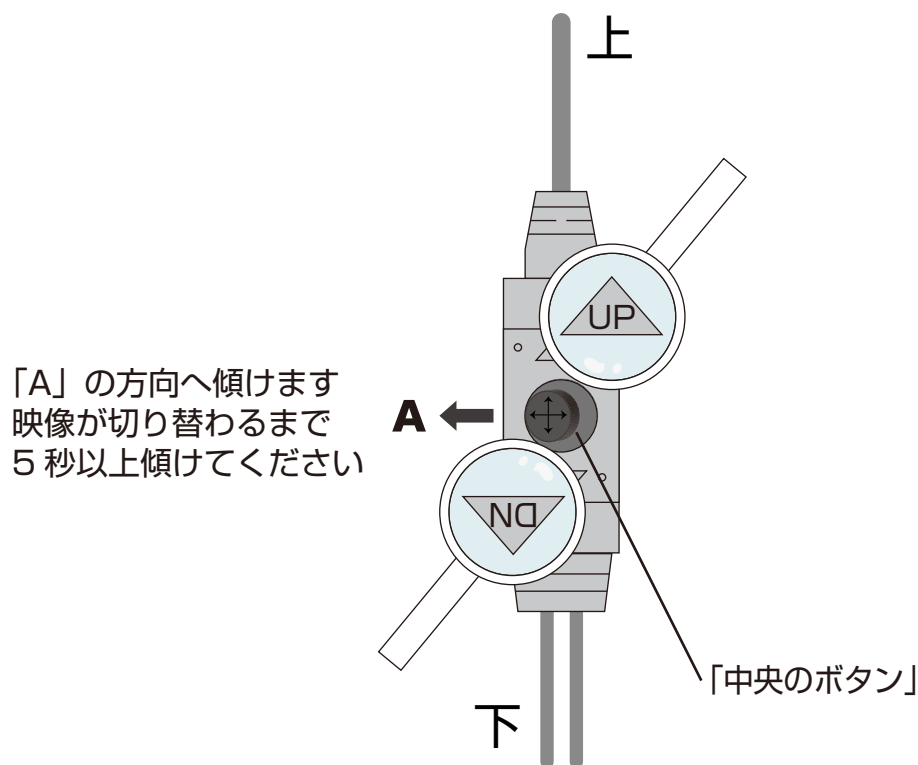
お困りの時は1-2

■前ページの②まで実行しても、映像が出ない場合

- ③ カメラの電源を抜き差しします。
この時絶対にカメラのリモコンに触れないようにします。



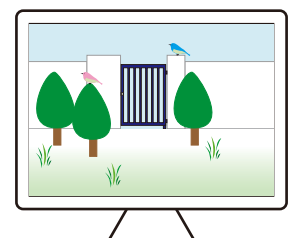
- ④ 前ページ①②を実行します。リモコンの「中央のボタン」を左に傾け、映像が切り替わるまで 5 ～ 6 秒傾け続けてください。



※接続の機種によって青色の画面だったり表示が違います。



※接続の機種によって表示が違います。

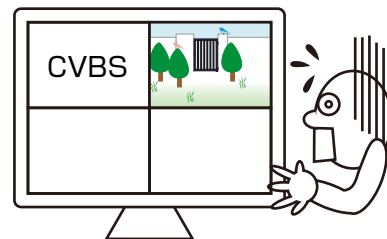


切り替りの流れ

- ⑤ これでカメラはアナログに切り替わり、映像が映るようになります。
※この方法でも映らない場合は、ご購入店へご相談ください。

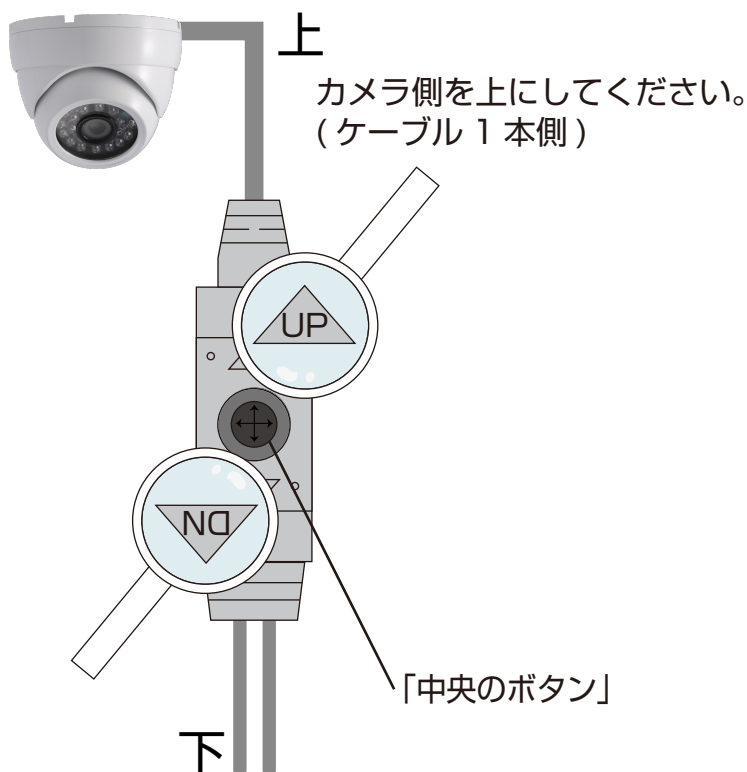
お困りの時は2

- NS-F401MR と F シリーズのカメラ 2 台を同じグループに接続しているのに 1 台のカメラに「CVBS」と表示され映像が映らない!!
- ※この場合 1 台がハイビジョン設定、1 台がアナログ設定になっています。2 台ともハイビジョンになるように設定します。

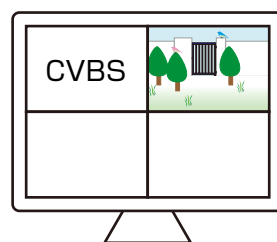
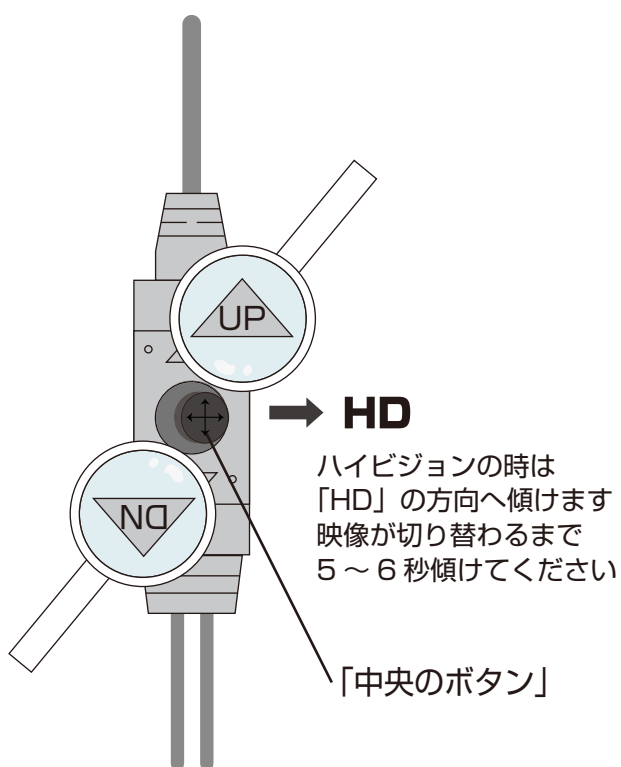


- ⑥ 画面に「CVBS」と表示があるカメラのリモコンを操作します。
下図の通りケーブル 1 本側を上、ケーブル 2 本側を下にしてください。

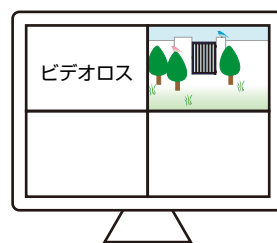
基本ポジションです。



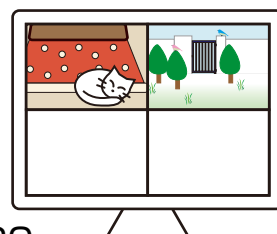
- ⑦ 上図の状態です「中央のボタン」を右に傾けます。
映像が切り替わるまで 5 ～ 6 秒傾け続けてください。



※配線の位置によって画面表示位置が違います。



※配線の位置によって画面表示位置が違います。



切り替りの流れ

改善されない時は

「お困りの時は 1-2③」を参照して電源の抜き差しを行ってください。次に「お困りの時は 2⑦」を実行してください。

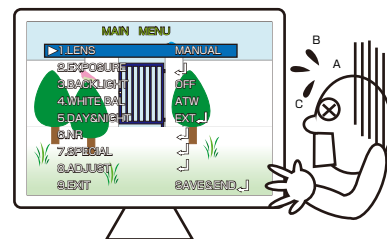
F シリーズのカメラを複数台お持ちで「アナログ」なのか「ハイビジョン」なのかわからなくなってしまった時も「お困りの時は 2⑦」を実行してください。どちらも「ハイビジョン」に設定されます。

どのチャンネルにどのカメラを設置中かが分かるような、メモを取ることをおすすめします。

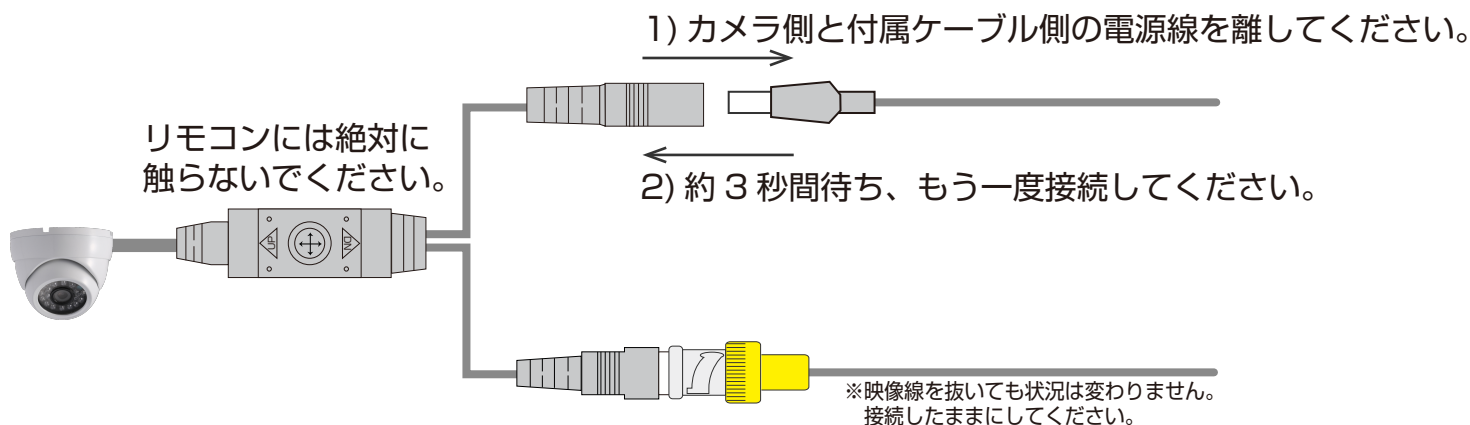
お困りの時は3

■勝手に英語のメニューが出てきてしまった!!

< 操作していない、「1.LENS」に青いカーソルがある場合 >

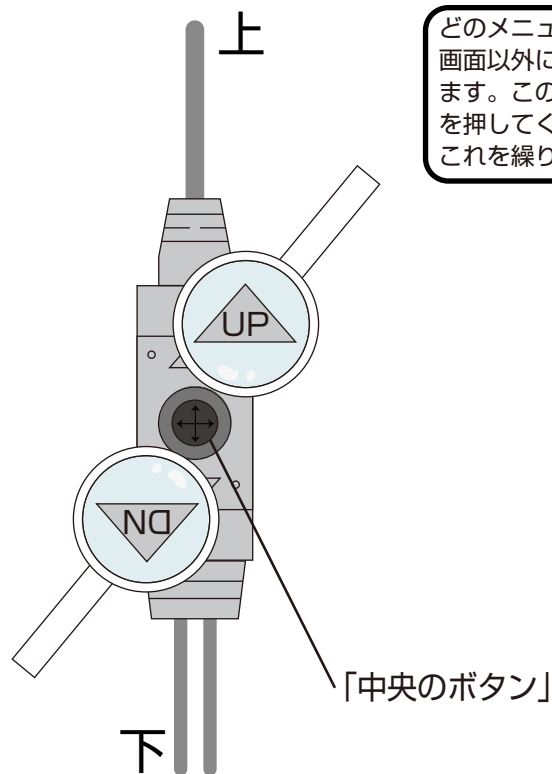


- ⑧ カメラの電源を抜き差しします。
この時絶対にカメラのリモコンに触れないようにします。



< 色々操作して訳が分からない場合 > ※現在の表記が「MAIN MENU」の方は⑧へ進んでください。

- ⑨ リモコンの「中央のボタン」を上下に動かして、まずは「RETURN RET↵」にカーソルを移動してください。最終的に「MAIN MENU」までたどり着くようにします。



どのメニューに紛れ込んでしまっても MAIN MENU 画面以外には必ず「RETURN RET↵」があります。この文字までカーソルを移動し、中央のボタンを押してください。一つ前のページに戻ります。これを繰り返して MEIN MENU へ戻ってください。

例)

LIVE DPC	
1.AGC LEVEL	64
2.LEVEL	100
▶3.RETURN	RET ↵

MAIN MENU	
1.LENS	MANUAL
2.EXPOSURE	↵
3.BACKLIGHT	OFF
4.WHITE BAL	ATW
5.DAY&NIGHT	EXT ↵
6.NR	↵
7.SPECIAL	↵
8.ADJUST	↵
▶9.EXIT	SAVE&END ↵

左 中央ボタン 右

- ⑩ MAIN MENU の「9.EXIT」までカーソルを移動し、中央のボタンを右に傾けると、「SAVE&END ↵」が「RESET ↵」に変わります。ここで中央のボタンを押して、設定をリセットします。

7.SPECIAL	↵
8.ADJUST	↵
▶9.EXIT	RESET ↵

「RESET」にカーソルがあれば、ここで中央のボタンを押してください。

画面に「WAITING...」が表示されライブ映像に戻ります。

※設定をされていた場合は、もう一度設定をやり直してください。

保証書

株式会社NSKは、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。
本製品は人命にかかわる医療機器等の用途には使用しないでください。
高い信頼性が求められる用途に使用する場合はシステムの故障等の処置に万全を期してください。
その場合、その結果に対しての損害賠償責任について弊社は負担いたしません。
本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保障期間内に故障・不具合が発生した場合、本保障規定に基づき無償修理・交換対応を行います。
ただし、次のような場合には保障期間内であっても有償修理となります。
(修理を依頼される場合の往復の送料はお客様のご負担となります)

- 1.本保証書がない場合
- 2.本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店の印字等の記入がない場合、または購入先や購入日が改ざんされている場合
注:太字及び※印の項目は必ず記入願います。
- 3.取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障および損傷である場合
- 4.ご購入後の輸送・移動・移設・落下による故障および損傷
- 5.火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷である場合
- 6.他の機器との接続に起因する故障・損傷である場合

■初期不良交換、修理の手続き

- 保証期間発生日より1ヵ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。
- お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。
(送料については弊社負担とさせていただきます)
ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。
また、当サービスをご利用いただくには、お買い上げ商品のすべての付属品が揃っていることが条件となります。
- 弊社では、出張修理あるいは不具合原因の現地調査は行っておりません。
- 弊社ではセンドバック(先に修理依頼品または不具合品をお送りいただき、弊社より修理完了品または初期不良交換品をご返却する)方式でのみ、対応を行っております。
- 修理費用については販売代理店や購入店を通しての対応となります。

⚠ 注意

- 電源は家庭用AC100V(50Hz/60Hz)のコンセント以外で使用しないでください。また、タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となります。
- 必ず付属のACアダプターを使用してください。
- ACアダプターのコードを傷つけたり、破損させたり加工したりしないでください。
重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると、コードを傷め、火災・感電の原因となります。
- ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常があるときは使用しないでください。
異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐにACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 動作環境範囲外で機器をご利用にならないでください。
- 本機を改造あるいは、分解しないでください。火災・感電の原因となります。
また、内部には電圧の高い部分があり、感電の恐れがあります。
- 長期間使用されないときは、安全のため、ACアダプターをコンセントから抜いておいてください。
- 落雷の恐れがある場合は、すみやかに本機を停止させ、コンセントからACアダプターを抜いてください。(停電時のブレーカーの入り切りによる突入電流が原因で機器が故障する場合があります。)
- 本機を次のような場所での使用や保管はしないでください。
 - 直射日光のあたる場所 ●特に高温・低温になる場所 ●温度変化の激しい場所
 - 振動の多い場所 ●油煙、湯気、湿気があたる場所 ●静電気が多く発生する場所
 - 強い磁気や電磁波が発生する装置(発電機やアンテナ)が近くにある場所
 - 機器の仕様に合わない不安定な場所や、落下の危険がある場所
- 本機を移動、移設させる場合は、ACアダプターをコンセントから抜き通電停止の状態になってから配線を抜いて下さい。
- 金融機器、医療機器や人名に直接または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

⚠ 録画機についての注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本機の通風孔をふさがしないでください。
内部に熱がこもり、機器の不良や火災の原因となることがあります。
内蔵の記憶媒体は高温に弱い場合もあるため、適度な換気が必要です。
- 3年に一度を目安に内部の清掃や稼働点検を販売店に依頼してください。
なお、内部清掃点検費用については、販売店にご相談ください。
- 主に録画装置に使用している記録媒体としてのハードディスクは、永久的に使用可能な媒体ではありません(消耗品扱いとなります)。
次の留意点踏まえたうえでご利用ください。
 - 衝撃、振動をあてないでください。 ●電源の入り切りを頻繁に行わないでください。
 - 推奨環境:周辺温度25℃以下 ●稼働時間18,000時間を超えた場合は交換を推奨します。
 - 録画データや運用設定などは必要に応じてバックアップをおこなってください。
- 本機の利用に際し、故障や誤動作、不具合などによってデータの消失などの障害が発生しても、弊社では保証しかねることをあらかじめご了承ください。

■ご注意

- 本機の故障・誤動作・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信、撮影、録画機会を逃したために生じた経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 通信、録画内容や保持情報漏えい、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本機のパッケージ等に記載されている機能、性能値は当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保障するものではありません。
また、バージョンアップ等により予告なく性能が上下することがあります。
- ハードウェア、ソフトウェア(ファームウェア)、外觀に関しては将来予告なく変更されることがあります。
- ソフトウェア(ファームウェア)、更新ファイル公開を通じた修正や機能は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。
内容や提供時期に關しての保証は一切ありません。
- 一般的にインターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要となります。
- 通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末の台数、機能、回線の利用率などについて設定を行っている場合がありますので、通信事業者と端末機器の導入に際して契約内容などをご確認ください。
このため弊社機器はすべての公衆網との接続を保障するものではありません。
通信事業者側の環境においては通信機能を有効にできない場合もありますのでご了承ください。
- 公衆網に関連してDDNSサーバーのサービスを利用できる機器については、サーバーの臨時メンテナンスや、サーバー設備の障害、やむをえない事情によるサービス提供の停止、などの理由によりサービスを継続的に提供できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

- 本機を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

- 本機及び弊社製品は日本国内での利用可能な製品であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。海外での利用はできません。
また、ご利用の際は各地域の法令や政令、ガイドラインなどに従ってください。

■免責事項

- お客様が購入された製品の使用において、録画映像の流出や、不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社では一切責任を負いません。
- お客様および第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- 製品の使用および不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断および事業利益の損失、記憶装置の内容の変化・消失、また建物の現状復帰や取り外し施工についての費用・損失)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- 製品の装着することによりほかの機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保障いたしません。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in japan.

製品保証書	
※保証期間	ご購入日 年 月 日 より 1 年間
製品型番	NS-F202C
※製造番号 シリアル NO.	
お客様 連絡先	お名前 ご住所
ご購入 代理店様 所在地	

日本セキュリティー機器販売株式会社

〒461-0043 名古屋市東区大幸 1 丁目 10-15

弊社 HP : <http://www.n-sk.jp>

お問合せ Mail : hp@nsk-sec.co.jp